



12月22日

# こんにゃく作り講座

こんにゃく芋がなかなか手に入らない昨今、農業婦人クラブさんが丹精込めて育てたこんにゃく芋を使つての講座。男性や小さな子どもさんも参加して一緒に作ったこんにゃくは絶品でした！

「昔、祖母が作ってくれたこんにゃくの味が、忘れられなくて挑戦しました！」「早く家族に食べさせたい、今晚のおかずは刺身こんにゃく！」「工程はそんなに難しくなかったけど、材料が揃わないのよね」などの話が聞えてきました。コロナ感染対策をしながらの講座でしたので試食が出来なく、皆さんお土産をたくさん持って帰られました。



①ゴツゴツしたこんにゃく芋



②ミキサーにかけて



わたしもお手伝い



③バットに流し込み固めます



④固まったら大きな鍋で茹でます



⑤出来上がり！

## 新型コロナウイルス感染症

### 「緊急事態宣言」発令中 市長からのメッセージ

岐阜県は、新型コロナウイルス「緊急事態宣言」の対象地域に指定されています。

全国や岐阜県での感染拡大は、大変深刻な状況で、医療提供体制もひっ迫の危機にあります。

これ以上、新規感染者を増やさないために、市民の皆様には、自覚と責任ある行動をお願いします。

昼夜を問わず不要不急の外出は自粛し、大人数や大声での会食も自粛してください。マスクの着用、手洗い、三密の回避など、今一度、基本的な対策を徹底してください。

1日でも早く、元通りの日常生活が送れるよう、市民の皆様のご協力をお願いいたします。

瑞浪市長 水野 光二



## お手元に残っていませんか？

### 瑞浪市プレミアム商品券



新型コロナウイルス感染症に係る経済対策として、市民の家計支援と消費喚起を図るため、市内事業所または店舗での消費を促すプレミアム商品券は、多くの方にご利用いただいています。

利用期間は令和3年2月28日（日）までです。利用期間を経過した商品券は無効となりますのでお気を付けください。

問合せ：商品券発行事業事務局  
（瑞浪商工会議所内） ☎67-2222  
瑞浪市役所 商工課  
☎68-2111（内線499）

## ii-nuts!!ギャラリー

次はお雛様を  
予定しています。

### 中学生書き初め

中学生の作品を町民の皆さんにも見て頂きたいと始まった公民館ロビー書初め展、今回で8回目となりました。生徒さん171人の中から選ばれた12作品を約2週間にわたり展示しました。

力強い作品、繊細な作品、個性的な作品の数々が並び、じっくりと鑑賞する来館者の姿もありました。



## ii-nuts!!ギャラリー

### 今月の稲津さん

## 募集



ii-nuts!!ギャラリーは公民館ロビー展示です。来館者に季節を感じ楽しんでいただこうと、工夫しながらロビー展示をしています。皆さんも作品や趣味で収集した物など展示してみませんか？

今月の稲津さんは、稲津町内で頑張っている人を紹介するコーナーです。幅広い年齢層の方を紹介させていただきたいと考えています。自薦他薦は問いません、公民館まで情報提供をお願いします。 稲津公民館 ☎68-3201

## 市県民税・所得税の申告相談会

必要な方は申告をしてください

会 場	開催日(土・日・祝日を除く)	時 間
瑞浪市役所	2月16日(火)～22日(月)・3月4日(木)～15日(月)	9時～16時
稲津公民館	3月1日(月)	9時～16時

※マスク着用での入場・検温、コロナ対策へのご協力をお願いします。 ◎問合せ：市役所税務課 ☎68-9751

人 口		12月1日現在	1月1日現在	増減		不燃ごみ	ビン・缶・ペットボトル・紙類・古着
小 里	男	2,115 人	2,110 人	－5		2月10日	2月19日
	女	2,189 人	2,185 人	－4		3月17日	3月30日
計		4,304 人	4,295 人	－9	萩 原	2月9日	2月18日
世帯数		1,715 世帯	1,713 世帯	－2		3月16日	3月29日

2月は「如月(きさらぎ)」、立春を迎えるこの季節ですが寒さ厳しい日々が続きます。寒さのため着物を重ね着することから「衣更着」、その一方で春を感じる季節の到来から「気更来」など諸説あります。季節は初春。

2月のしきたりで、今年は2日が節分。古く奈良時代に始まり、平安時代に宮廷の行事として行われたそうです。豆は「魔目」、豆を炒って使うしきたりは「魔目を射る」。「魔」とは「鬼」と言われているようです。今年の鬼はコロナ、「鬼は外「福は内」こんな掛け声が各家庭から聞こえてくるのでしょうか。節分の豆まきでコロナを退治しましょう。

昨年はコロナ禍の中、3月の「うえるかむすぶりんぐコンサート」から多くのまちづくり事業、公民館事業が中止を余儀なくされました。今年は、「うえるかむすぶりんぐコンサート」から事業を再開したいと考えています。コロナ禍の中、「できない」から「どうしたらできるか」と発想を転換し、活気ある稲津のまちづくりを進めていきたいと思ひます。皆さんのご理解、ご協力をよろしくお願い致します。

如月

館長ノート

2